松前消防署からのお知らせ

☎42－2119

歳末警戒について

冬を迎え、寒さも一段と厳しくなり、各家庭ではストーブなどの暖房器具が多く使用されることで、火災の発生しやすい季節となりました。特に、年末年始は夜更かしやお酒を飲む機会が多くなり、不規則な生活が続くことで、防火に対する注意がおろそかになりがちです。

火災はちょっとした気の緩みから発生することが多いので、外出するときやおやすみ前には必ず火の元を確かめ、火災を出さないように心がけましょう。

また、寝たばこは絶対にしないようにしましょう。

119番通報について

《119番通報の豆知識》

消防に通報するときに使われる「119番」。誕生したのは昭和2年10月1日です。それまでは、「112番」が使われていましたが、当時の一般市民の方々がダイヤル方式に不慣れで、かけ間違えが多いために地域番号として使われていない「119番」が緊急電話に指定されました。

《119番通報をするとき心がけることは?》

火災や急病・けがなど、目の前で火災や事故が発生したり人が倒れたりした場合は、誰でも気が動転し興奮した状態になりがちです。

消防署へ的確に情報を伝えることで、消防車や救急車の出動が速くなるので、1秒を争うときでも落ち着いて正しく情報を伝えられるように心がけましょう。

火災や救急、事故のとき、主に教えて欲しいことは、次のとおりです。

火災の場合

▽場所

～住所や世帯主の名前、目標となる建物など

▽燃えている物・箇所

～どこの何が燃えているのか

▽逃げ遅れている人がいるか

～いる場合は、人数

▽通報している方の名前

▽通報している電話番号

救急の場合

▽場所

～住所や世帯主の名前、目標となる建物など

▽どのような状態か

～意識があるか、体のどこが痛いのかなど

▽具合の悪い人の名前

▽具合の悪い人の年齢

▽通報している方の名前

▽通報している電話番号

事故の場合

▽場所

～住所や目標となる建物など

▽どのような事故か

～車に轢かれた、車と車の衝突事故など

▽どのような状況か

～車から油が漏れている、車が燃えている、人が車に挟まっているなど

▽けがをしている人の数

▽けがをしている人はどのような状態か

～意識があるか、体のどこが痛いのかなど

▽通報している方の名前

▽通報している電話番号

自分の家の住所や電話番号でも、気が動転していると忘れてしまうことがあると思います。そのため、電話のそばには住所や電話番号を書いたメモを備えておきましょう。

雪かきにはご注意を！

これからの季節、雪が降り積もる日が多くなってきます。それに伴い、雪かきをする機会も多くなります。

例年、道内各地で屋根の雪おろし中に屋根から転落する事故や、歩行中または除雪中に落氷雪により、けがをする事故が発生しています。

屋根の雪おろしの際には、靴に滑り止めをつけたり、体に命綱をつける等の工夫をし、家の軒下など落氷雪のおそれがある場所に長時間いるのはやめましょう。